

# 令和5年度 加藤学園高等学校 自己評価表(結果)

加藤学園高等学校長

加藤瑠美子

加藤学園高等学校関係者評価委員会委員長

尾崎 庸夫

## 学校教育目標

建学の精神である校訓「至誠」は人間の最も大切な心構えであり、創立以来不変の教育理念として継承されている。教育は、知育・徳育・体育の調和のとれた育成にあるが、徳育の最高目標として、「至誠…まごころを尽くす」を掲げ、近代的知性にあわせて、誠実で品位ある人づくりを目指す。

## 今年度の重点目標

ア 生徒一人ひとりを大切にし、豊かな心を育てる  
エ 基本的生活習慣の徹底

イ 保護者・生徒が安心・満足できる学校づくり  
オ 校友会活動への積極的参加、文武両道を目指す

ウ 生徒の希望に沿った進路指導  
カ 国際理解教育の推進

領域	ねらい	評価項目	達成目標	自己評価	成果及び改善点	外部評価	学校関係者からの意見
徳育	建学の精神の実践	目標を踏まえた学習活動を実施し、指導と一体化した評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の励行と瞑想の徹底</li> <li>清掃指導の充実</li> <li>ボランティア活動の実施</li> <li>教室内外の環境整備</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生には、入学後に挨拶指導を実施している。しかし、年度の後半になると、徐々に挨拶ができなくなってしまうため、日々のホームルームでの指導が大切となる。</li> <li>毎週金曜日に大掃除を実施しているが、清掃指導の方法等を若手教員に指導していく必要がある。</li> <li>能登半島地震があったため、校内外で募金活動を実施した。</li> <li>新たに追加した単元「情報モラル」…SNSのルールとマナーについて指導</li> <li>「国際人のマナー」…最新の国際情勢を反映させている</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>創立から続いている徳育の指導は、これからも続けてください。</li> <li>生徒の挨拶は素晴らしいです。</li> <li>生徒の主体性を引き出すと挨拶や清掃等の向上を目指せると思います。</li> <li>コロナ以降、挨拶に変化があるように感じます。以前のように元気な挨拶ができるように働きかけてください。</li> <li>学校で指導することが増えていて先生方は大変だと思いますが頑張ってください。</li> <li>SNSについては指導の徹底をお願いします。</li> </ul>
教科指導	基礎・基本の確実な定着と個性を生かす教育の充実	授業改善の推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人ひとりの能力を引き出す授業を展開する</li> <li>教科の研鑽に努める</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の自己評価アンケート結果より、学習指導に関しては各教員がiPadの活用等も含めて積極的に取り組んでいるといえる。数学科と英語科は研究授業を本校で実施し他校の先生方との意見交換を実施した。</li> <li>生徒の授業満足度アンケート結果より、7割の生徒が7点以上(10点満点)の点数をつけていることから、生徒の授業満足度が高いといえる。しかし、これに安心することなく日々の研鑽に努めていきたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>iPadの活用を積極的に取り組んでいることはとても感心いたします。</li> <li>教えるから自ら学ぶへ、変化の時と感じます。</li> <li>中学時代に苦手な科目も先生方のおかげで興味をもって学習に取り組んでいます。</li> </ul>
		個に応じたきめ細かな指導を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な副教材を積極的に活用し、基礎学力を定着させる</li> <li>英検・漢検・情報処理検定等の資格取得にチャレンジする</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>副教材を積極的に活用することで基礎学力の定着を目指した。大部分において積極的な活用がみられる。iPadの活用も多くなっているが、紙の教材の良さもあるため、併用しての学習がすすまれている。</li> <li>検定試験については、英検を中心に積極的に取り組んでいる。本年度は、総合コースライフデザイン専攻の2年生11名が手話検定5級にチャレンジし全員が合格した。新しいコースのチャレンジを積極的に実施している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら学ぶ姿勢を引き出すことで、生徒と共に授業や学習を推進していく意識を伸ばしてください。</li> <li>生徒はiPadを使いこなして学習しています。</li> <li>各種検定への対応はとても良いと思います。手話検定へのチャレンジは、自分の為だけでなく世の中を見る目を養う為にも素晴らしいことです。</li> </ul>
教職員質向上	教職員の資質・能力の向上	校内研修の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業を実施する</li> <li>研究授業を実施する</li> <li>職員研修を実施する</li> <li>私学人として誇りをもち、生徒の見本となる節度ある言動・服装を常に意識する</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業は、在校生の保護者対象の日と中学生とその保護者対象の日とを分けて実施した。いずれも申込制であるが、多くの方に来校していただくことができた。土曜日の実施であるため、部活動の派遣等で不在の教員・生徒があり、運営上の課題が残っている。</li> <li>研究授業は、各教科で実施している。</li> <li>4月の職員研修会として、コアネット教育総合研究所の福本雅俊氏による講演会「私学を取り巻く環境変化と私学経営のこれから」を実施し、今後の私学の在り方等を全職員で確認をした。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育の在り方が変わってきています。時代の変化に合わせて、授業の在り方等を研究してください。</li> <li>公開授業の参加数を見ると、多くの方が授業に関心を持っていることがわかります。先生方は大変かと思いますが、日々の指導をお願いします。</li> </ul>

領域	ねらい	評価項目	達成目標	自己評価	成果及び改善点	外部評価	学校関係者からの意見
進路指導	進学・就職へ向けての指導体制の確立	生徒の進学・就職希望の実現を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業前・放課後の補習と個別指導の実施</li> <li>・長期休暇中の補習の実施</li> <li>・各種検定・資格取得に積極的に取り組む</li> <li>・特進部と進学部の一部は、一般受験に挑戦し、県内の4大学を含む国公立大学30名以上、早慶上理、GMARCH、関関同立に40名以上の合格を目指す</li> <li>・校内進学相談会を効果的に運用する</li> <li>・長期休暇中の教員の外部講習への参加</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内進学相談会は52大学・7専門学校にて実施した。今回は3年生と一部の2年生が参加、生徒の進学への意識の変化や若い教員にとっても大学・各種学校を知る良い機会となった。</li> <li>・看護ガイダンスは7回実施し、医療人としての心構え、面接の受け方等の講義を受け、実際の入試に役立った。看護系の大学・専門学校でのべ30名が合格した。</li> <li>・多くの大学で総合型・学校推薦型の入試を実施し、年内に合格する生徒がほとんどで、不合格になる生徒はある程度のランク以上の大学のみである。今後、益々中堅以下の大学は受かりやすい傾向であるが、力をつけて上の大学を目指す指導が必要である。</li> <li>・共通テストについては32名の生徒が一般受験を目指して受験した。コロナ禍も緩和され、難関大学への志願者が増加し、最後まで第一志望を諦めずに受験する生徒が多かった。iPad等も利用しながら、生徒への個別指導が直前まで行われた。</li> <li>・国公立大学の合格 24名(3/9現在) 九州(1)・横浜国立(1)・筑波(1)・東京農工(1)・静岡(2)・信州(1)・和歌山(1)・奈良女子(1)・鳴門教育(1)・山口(1)・北見工業(1)・名古屋市立(1)・静岡県立(5)・都留文科(1)・秋田県立(2)・長野(1)・山陽小野田市立山口東京理科(1)</li> <li>・難関・準難関私立大学の合格 慶応(2)・東京理科(2)・明治(1)・青山学院(3)・立教(5)・中央(3)・法政(8)・学習院(1)・立命館(13)・南山(1)・芝浦工業(2)・成城(3)・成蹊(3)・明治学院(6)・國學院(8)・武蔵(8)・北里(1)・順天堂(5)・日本女子(5)・同志社女子(2)・津田塾(3)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導は素晴らしいと思います。結果もよく安心しました。</li> <li>・部活動だけでなく、進路の結果も素晴らしいものを残しています。進路の実績等をもっと宣伝していくとよいと思います。</li> <li>・進路決定が二極化しているようです。進路を決定した生徒は意識を高くもち、後輩に繋がるように指導してください。進路決定後に問題を起こすことがないように指導が必要かと思います。</li> <li>・中学時代より学習に対し興味をもちレベルが上がり有名大学に進学しています。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・校則、特別指導、自転車マナー指導など、生徒が本校の校風を理解し、規律正しい生活を送るための、規範意識の育成</li> <li>・挨拶や言葉遣い、公共の場でのマナーやモラルなど、「人間力」の育成。特にマスク着用で不十分になっている挨拶の徹底に力を入れる</li> <li>・コロナ禍で崩れ気味的生活習慣(遅刻など)を正していく</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題行動は昨年とほぼ変わらない件数であったが、自転車マナー違反切符の交付数は昨年より増加した。生徒もルールは理解しているのかわかるため、再度何のためにルールを設けているのかを指導していきたい。</li> <li>・マスク着用が義務から任意に変わったが、マスクを外さない生徒が多い。そのため、表情が分からなかったり、挨拶の声が出せなかったりする問題がある。本校は、挨拶ができる校風が伝統であるため、それを取り戻す工夫を考えたい。</li> <li>・3年生の進路決定者が厳重注意を受けたり、欠席や遅刻が増えたりする傾向が見受けられた。卒業後の進路に向けてモチベーションを持たせる工夫が必要である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車マナーは少しずつ良くなっていると思います。</li> <li>・進路決定者に対する指導を徹底し、有終の美を飾ることができるようにご指導ください。</li> <li>・生徒は人間性豊かに育っています。多くの生徒が交通ルールをよく守っていると思います。</li> <li>・社会の変化とともに生徒の関心事も変わり、先生方のご指導も大変かと思います。</li> </ul>
生徒指導	生徒の人間力と加藤学園プライドの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識の育成</li> <li>・礼儀・マナー・モラルの育成</li> <li>・基本的生活習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ対策委員会(毎月)での情報共有といじめや嫌がらせの未然防止、早期発見に努める</li> <li>・金品や自転車の盗難が発生しにくい環境整備と、生徒の自己防衛意識の向上</li> <li>・SNSへの不適切画像の投稿や、他人への誹謗中傷、iPadの使い方など、ルールに基づいた適切な使用方法を理解させる</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員の高いアンテナと情報共有により、生徒間のトラブルにも早期発見、対応ができた。心の相談室との連携も適切であった。</li> <li>・金銭の盗難や自転車の盗難がわずかであるが発生した。その都度調査あるいは訓話を設け、貴重品管理対策も行ってきた。継続的な管理体制が必須である。</li> <li>・SNSを介しての問題行動の発覚は相変わらず多い。情報リテラシー教育に合わせ、ネット依存の問題も課題とし、全教員で取り組んでいきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目に見えない部分を指導しなければならない大変さがあると思います。先生方、ご苦労様です。</li> <li>・教職員の努力を感じます。生徒の自浄作用をどう引き出すかが課題であると感じます。</li> <li>・部活動等でよく指導されていて、落ち着いた生活をしていると思います。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止教育</li> <li>・防犯教育</li> <li>・情報リテラシー教育</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目に見えない部分を指導しなければならない大変さがあると思います。先生方、ご苦労様です。</li> <li>・教職員の努力を感じます。生徒の自浄作用をどう引き出すかが課題であると感じます。</li> <li>・部活動等でよく指導されていて、落ち着いた生活をしていると思います。</li> </ul>		

領域	ねらい	評価項目	達成目標	自己評価	成果及び改善点	外部評価	学校関係者からの意見
国際理解教育	国際理解教育の充実	国際理解教育の充実にを図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>短期留学の実施</li> <li>コロナ禍における校内英語研修の充実</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーストラリア短期留学の実施(7月・15日間) 異文化体験・ホームステイ・14名(男5女9)参加</li> <li>セブ島語学研修の実施(3月・14日間) 語学研修・7名(男1女6)参加</li> <li>校内英語研修(EnglishDays)の実施(8月・2日間) α特進・特進コースの1・2年生・語学研修</li> <li>神田外語大学のオンライン講座(進学コース1年)の実施</li> <li>オンライン英会話(進学コース1・2年)の実施</li> <li>異文化に触れることや英語に触れる機会を増やすことを通して英検合格者数の増加を目指している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>短期留学は子供にとって大きな影響を与えていると思います。</li> <li>モンゴルからの留学生を2名受け入れていることを利用し、国際化を推進させ、校内生徒の意識を高くもたせるきっかけにした方がよいと思います。</li> <li>留学先が多様になっているので、時代に合わせた対応が必要であると感じます。</li> </ul>
校友会	校友会活動への積極的参加	校友会活動を活性化させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の自立性、規律性、人間性、社会性の向上に努める</li> <li>心身の鍛錬に励み、相互の信頼関係を構築する</li> <li>校友会活動に積極的に参加するように促す</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活における挨拶の徹底や校則の遵守など、人間性や社会性を高めるための指導を行っている。</li> <li>柔道部 <ul style="list-style-type: none"> <li>全国高校柔道選手権大会 男子団体 ベスト16</li> <li>男子個人 出場</li> <li>全国高校総体 男子団体 第5位</li> <li>男子個人 出場 女子個人 ベスト16</li> </ul> </li> <li>バドミントン部 <ul style="list-style-type: none"> <li>全国高校選抜大会 男子団体・男子S 出場</li> <li>全国高校総体 男子S ベスト16</li> <li>男子団体・男子W・女子W 出場</li> <li>北海きたえーる 男子S ベスト16</li> <li>男子W・女子W 出場</li> <li>全日本ジュニア選手権大会 男子S 第5位</li> <li>男子W・女子W・女子S 出場</li> <li>全国私学大会 男子団体・女子団体 出場</li> </ul> </li> <li>チアリーダー部 <ul style="list-style-type: none"> <li>USA nationals 2023 JAZZ部門 7位</li> <li>showcheerleading部門 17位</li> <li>song/pom部門 9位</li> <li>全国ダンスドリル選手権大会2023 JAZZ部門Large編成 7位</li> </ul> </li> <li>ソフトテニス部 <ul style="list-style-type: none"> <li>全国高校総体 女子個人 出場</li> </ul> </li> <li>囲碁・将棋部 <ul style="list-style-type: none"> <li>全国高文祭 静岡県団体の一員として出場</li> <li>全国囲碁選手権大会 女子団体 出場</li> <li>女子個人 出場</li> </ul> </li> <li>吹奏楽部 <ul style="list-style-type: none"> <li>全国高文祭 M&amp;B部門 出場</li> </ul> </li> <li>総合部 <ul style="list-style-type: none"> <li>全国高校総体 フェンシング 男子個人サーブル 出場</li> <li>女子個人サーブル 出場</li> <li>全国高校スキー大会 女子大回転 出場</li> <li>国民体育大会冬季スキー協議 女子大回転 出場</li> <li>全国高校選抜スキー大会 女子大回転 出場</li> </ul> </li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部の成績は、全国レベルが多く素晴らしいです。良い結果ができることを楽しみにしています。</li> <li>校友会の活躍は素晴らしいです。顧問の先生が、熱心に指導してくださり、生徒達もそれに応えていると思います。</li> <li>部活動の生徒の対応が良いです。挨拶もしっかりでき、荷物を運ぶ際に、積極的に手伝っていただきました。</li> <li>多くの分野での活躍があり、素晴らしいと感じます。</li> <li>生徒の挨拶の徹底は感心いたします。</li> <li>先生方は熱心に指導してくださり、生徒は楽しく活動しています。</li> <li>他の部活動も日々頑張っていると思います。良い結果ができることを期待します。</li> <li>各部の活躍が学校にプラスになっていると思います。</li> </ul>
学校安全	安全管理の充実	防災訓練の実施と安全管理の充実にを図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練の定期的実施</li> <li>安全管理マニュアルの確認</li> <li>防災避難用設備の改善</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練(8月)・防災講座(6月・1年生)を実施し、生徒の防災に対する意識向上に努めている。</li> <li>安全管理マニュアルを改訂し、緊急時の対応が迅速にできるよう地域住民との連絡会(10月)を実施した。</li> <li>地域防災訓練(12月)への参加を促しているが、定期テストの直前であり参加する生徒の数は伸び悩んでいる。</li> <li>地震の頻度を鑑みて、備蓄品の補充を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練は必要です。地域の方々との連絡会もとても良いことだと思います。</li> <li>防災キャンプの実施も一案かと思っています。</li> <li>地域の防災訓練に積極的に参加してくれました。</li> <li>通学時の災害対応を検討してください。</li> </ul>